

# 友のお供新聞

水戸RC  
雑誌委員会

## 人類に奉仕する

### RI会長メッセージ



2016~2017年度RI会長に  
就任したジョンF.ジャーム氏夫妻

ロータリーの友7月号の表紙を飾ったのは、RI会長に就任されたジョンF.ジャーム氏夫妻。横組の5、17ページにわたり、ジャーム氏について詳しく紹介されています。地元でニーズを見つけては解決策を考えてきたジャーム氏は、RI会長としても「やればできる」の心意気で取り組む方針です。

ジャームRI会長が掲げる2016~2017年度のテーマは「人類に奉仕するロータリー」です。ジャ

ーム会長はロータリーの初期から人類への奉仕はロータリーの礎であり、主な存在理由であると強調。世界に確かな変化をもたらすためには、ロータリーほど優位な立場にある団体はないと断言されています。また、現在、ロータリーは大事な時を迎えていると

### 地域医療3年の軌跡

中頓別歯科代表 杉澤さん 7月号の縦組トップは、中頓別町立歯科代表で、中頓別RC会員の杉澤宗一郎さんの地域医療の取り組み。国際ロータリー第25

00地区第2分区IMの特別講演の要旨です。訪問歯科診療の開始は杉澤さんにとって他職種連携のスタートであり、地域への貢献は、歯科診療の知識や技術だけでは成し遂げることができないと話しています。(●縦組4)

### ●認知症は怖くない

縦組17

東京都・東京武蔵野中央RC会員で石澤敦クリニックス院長の石澤敦さんが、所属するクラブの卓話で、認知症について話されています。予防できる認知症の攻略法として、生活習慣病の克服、早めの治療のほか、脳の活性化としてロータリー活動を挙げています。

### ●園児と和太鼓交流

縦組23

水戸西RCが、水戸市内の百貨店で地域の保育園児の百鬼夜行演奏会を催し、大きな拍手を贈られた話題がロータリーアットワークで紹介されています。演奏会前にクラブ会員が園児にわかりやすくボランティア活動の話をしたそうです。

### ●屋上庭園を設置

横組46

ヨルダンのアンマンウエスト・ローターアクトクラブは、ボランティアアット首都アンマンのアパートの屋上に庭園設置の資材を運んだそうです。美化と地区住民の野菜栽培のためのプロジェクト。同国の耕地面積は国土のわずか2%しかないそうです。

### 2820地区 白戸ガバナーの素顔

第2820地区のガバナーとなった白戸伸久さん(古河中央RC)は、農家の長男として生まれ、「農業で日本一」を目指し酪農に従事。整備士と親しくなったことでわずかに22歳にして共同で自動車整備工場を立ち上げ、そして現在のトヨタ自動車販売へと転身されました。

紹介している古河中央RCの田島清太郎さんは、「私が親友として身近に接し、感銘を受けることは頂点を極めても決しておごることはない人」と評価しています。白戸ガバナー自身は「人間は常に謙虚さを失わないことが自己研鑽につながる」と話しています。

7月号で白戸ガバナー (●横組26)

### ロータリーの友を読もう

水戸ロータリークラブの会員のみならず、新年度の雑誌委員会の委員長に任命された北島です。1年間よろしくお願いたします。

さて、雑誌委員会として重要な仕事の一つは、ロータリー

「ロータリーの友」の重要性を多くの人に知ってもらうことです。ぜひ実際に読んでいただきたいと考えています。そのために発行したのが、この「友のお供新聞」です。ロータリーの友のお供として目を通していただけたら幸いです。

活動計画は次の5項目です。(1)雑誌購読がロータリークラブ会員の義務の一つであることを理解してもらおう(2)ロータリーの友」を多くの会員に実際に読んでもらうために、工夫する(3)「ロータリーの友」への投稿を働きかける(4)「ロータリーの友」電子版と岡崎文庫(2013年度以前のデータベース)の活用を図る。みなさまのご協力をお願いします。(風彦)